

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月23日

計画の名称	宮崎市道路ストック修繕計画（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	宮崎市											
計画の目標	宮崎市は平成の大合併により、市域面積が約287km ² から約645km ² に拡大するとともに、市道の総延長が約1,676kmから約2,700kmに増加した。また、新たな道路整備、宅地開発などにより、年々管理すべき道路が増加していく中、市民が道路に求めるニーズも多様化しており、計画的な修繕・更新を行うことで、新宮崎市の均衡ある発展と、災害に強い道路ネットワークを確保し、道路本来の機能や安全の確保を促進していく。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	259	A	259	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29年度末	令和2年度末	令和4年度末
1	平成25年度に実施した路面性状調査の結果、ひび割れ等により、修繕が必要と判断された1級市道の路線に対して、実際に修繕に着手した路線の割合の向上。 平成25年度に実施した路面性状調査の結果、修繕が必要と判断された1級市道の路線において、修繕に着手した路線の割合を目標値に設定。 要対策路線の着手率 = (修繕着手済路線数 / 要対策路線数) × 100	25%	37%	37%
2	令和元年度に実施した定期点検の結果、修繕・更新が必要と判断された施設について、実際に修繕・更新に着手した施設の割合の向上。 令和元年度に実施した定期点検の結果、修繕・更新が必要と判断される施設において、修繕・更新に着手した施設の割合を目標値に設定。 要対策施設の着手率 = (修繕・更新着手済施設数 / 要対策施設数) × 100	0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画A8、A10、A11												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	計画調査	路面下空洞調査計画	路面下空洞調査 L=45.0km	宮崎市						10	-	
	A01-002	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)垂門久保線・2工区	舗装修繕 L=0.60km	宮崎市						52	策定済	
	A01-003	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)学園通線・1工区	舗装修繕 L=0.20km	宮崎市						10	策定済	
	A01-004	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)学校通線・1工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0	策定済	
	A01-005	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)青島通線・1工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0	策定済	
	A01-006	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)村角山崎線・1工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0	策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)平松線・1工区	舗装修繕 L=0.00km	宮崎市						0	策定済	
	A01-008	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)下江上畑線・1工区	舗装修繕 L=1.42km	宮崎市						80	策定済	
	A01-009	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)横町古城線・1工区	舗装修繕 L=0.10km	宮崎市						3	策定済	
	A01-010	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)池内大瀬町線・1工区	舗装修繕 L=1.40km	宮崎市						73	策定済	
	A01-011	道路	一般	宮崎市	直接	宮崎市	市町村道	修繕	(1)下北方通線外1線・下北方排水機場外1箇所	道路排水施設修繕 N=2施設	宮崎市						31	策定済	
												小計						259	
												合計						259	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

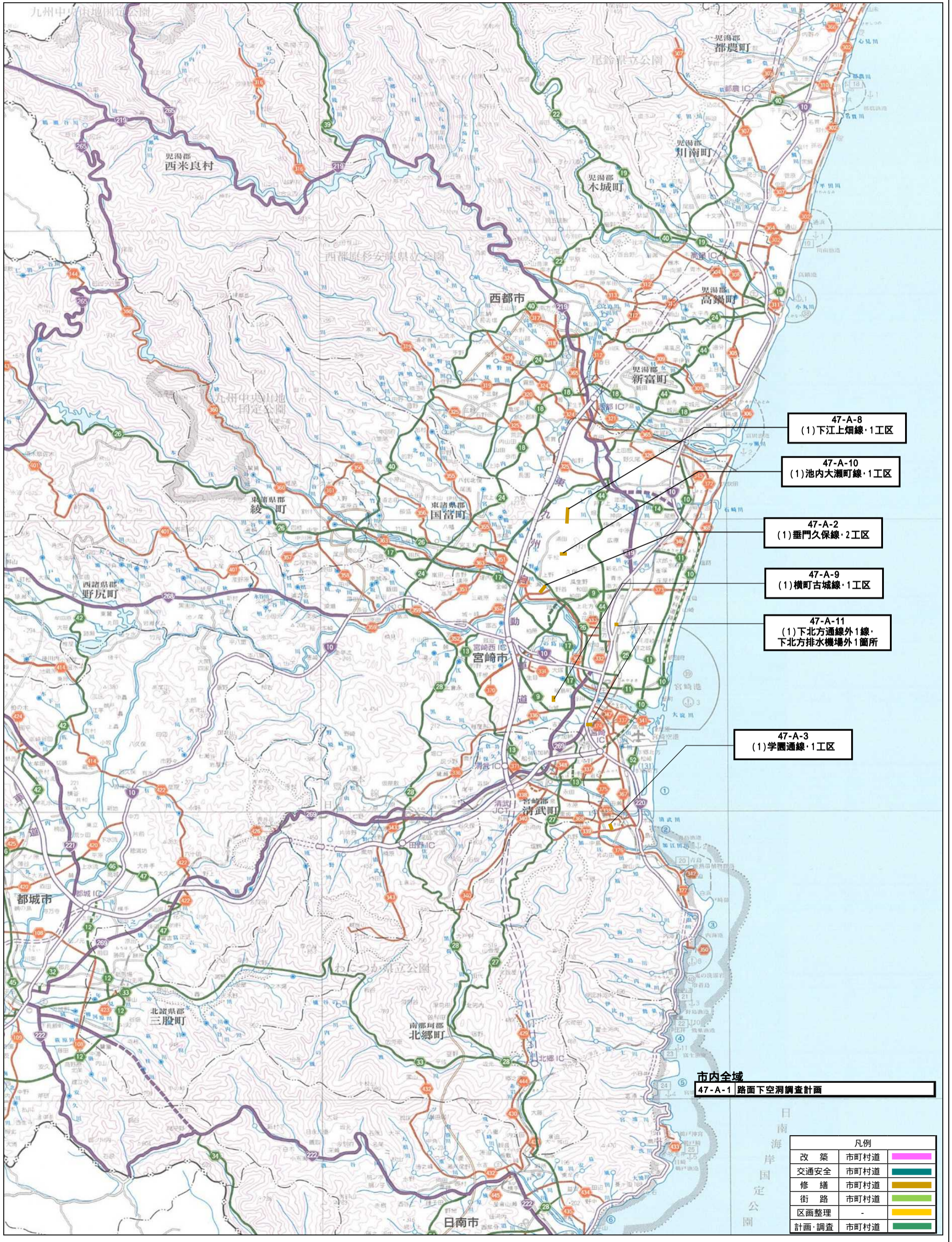
	H30	H31			
配分額 (a)	22	14			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	22	14			
前年度からの繰越額 (d)	0	2			
支払済額 (e)	20	16			
翌年度繰越額 (f)	2	0			
うち未契約繰越額(g)	2	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	9.09	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面

計画の名称 宮崎市道路ストック修繕計画(防災・安全)

計画の期間 平成30年度~令和4年度(5年間)

交付対象 宮崎市



事前評価チェックシート

計画の名称： 宮崎市道路ストック修繕計画（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 基幹事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 事業費・事業内容が適切に設定されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 実施工程に則して実施期間が設定されている。	○